

科目コード	授業科目名	単位数・学期	受講年次	授業区分	担当教員名
90229	比較美学研究B (奇数年度開講)	2単位 前期 (集中)	1・2	講義	関村 誠 (非)

■テーマ (かたち) の比較美学

■授業の概要

古代ギリシアの思想における美学に関わる「かたち」や「現れ」などの概念を検討して、その現代的な意味を探り、創造や受容の機能との関わりを考察する。その上で、現代の美学思想や日本思想と比較吟味していく。

■到達目標

- ・美学の古典的な基本概念を理解する。
- ・古典的な理論の理解をもとに創造と受容の場における現代的意味を論理的に考察展開することができる。

■授業計画・方法

1. 導入：感性論について
2. 古代ギリシアの模倣と再現の理論
3. プラトンにおける美とエロース
4. 感覚機能とイデア論
5. 現れと影
6. 形と型の機能と創造行為
7. 〈かたち〉と〈うつし〉
8. 見える「かたち」と見えない「かたち」
9. 美と魂の浄化
10. 美の内在性
11. 空間と主体性
12. コーラー（場）と風土
13. 風土と芸術
14. 和辻哲郎とギリシア彫刻
15. 定期試験および解説・まとめ

■履修上の留意点 (授業以外の学習方法を含む)

- ・授業で扱う概念を知識としてのみではなく、美的感性的経験の中でどのように位置づけられるかなどを含めてディスカッションも行います。
- ・授業で扱った内容を自分自身の感性的経験と比較しつつ反省する。

■成績評価の方法・基準

□方法 論述試験 (70%)、平常点 (30%)。平常点は授業への参加状況、ディスカッションへの参加やコメントペーパーの提出状況で総合的に評価。

□基準 到達目標を観点として、履修規程に定める「授業科目の成績評価基準」に則り評価する。

芸術文化学研究科 (博士課程) の学生には、専門家としての独創的かつ学術的な達成を求める。

■教科書・参考文献 (資料) 等

□教科書 特になし。

□テキスト 授業中に資料を配付する。

□参考文献 プラトン『パイドン』『饗宴』『国家』(プラトン全集)、プロティノス「美について」(プロティノス全集 第一巻)、ミシェル・アンリ『見えないものを見る カンディンスキー論』(法政大学出版局)、和辻哲郎『風土』『古寺巡礼』(岩波文庫)